

# ■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立鳥居原ふれあいの館
指定管理者名	有限会社鳥居原
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立鳥居原ふれあいの館条例
施設の設置目的	鳥居地域の優れた自然環境を生かした産業振興を図り、地域活性化に資するとともに、農林産物等の展示直売及び市民の交流の促進する施設として設置
施設概要	所在地：相模原市緑区鳥居1674番地 開館年度：平成12年4月 規模：敷地面積2,748.87㎡(うち管理面積2,089.99㎡)、延床面積470.36㎡ 構造：木造平屋建 主な施設：直売所、食材提供室、展示室・ホール、研修室
施設所管課	環境経済局 農政課

## 2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) ※レジ通過者数	121,906	81,126	77,892		
利用者数合計(人) ※研修・練習室、舞台	21,852	4,147	6,821		
利用料金合計(円)	126,400	35,330	62,500		

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>10</b>
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>				

指標	
指標名(単位)	年間レジ通過者数(人)
指標式と指標の説明	目標人数は、平成28年度から平成29年度までの2年間の食材提供室での食事や地場野菜、地元特産品を買い求めるお客様がレジを通過した実績の平均値の5%増とする。 ※ 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症に伴う施設休止期間を考慮し、評価している。

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	141,400	141,400 (70,700)	141,400		
実績値(人)	127,401	81,126	127,367		
達成度(%)	90.1%	94.6%	90.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>15</b>
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>				

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
農林産物等の販売	鳥屋地域を中心とした農林産物の販売を実施した。	鳥屋地区で採れた農林産物を中心に販売を行い、地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。
農林産物等の販売(食堂)	食堂を運営し、来館者への食事を提供した。	食堂では地元の食材を使ったメニューなども提供しており、これらを通じて施設の設置目的である地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。

#### 自主事業

主な事業名	内容等	効果等
感謝祭	抽選会の実施、お囃子の披露、煮団子の配布などを行った。	鳥屋地域と連携してイベントを実施することにより地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。
収穫祭	野菜生産者による芋煮販売を実施した。	鳥屋地域と連携してイベントを実施することにより地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。
新春祭	来館者にお汁粉を配布した。	鳥屋地域と連携してイベントを実施することにより地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。
体験教室	しいたけ植菌体験や苔玉体験等の鳥屋地域の自然を生かした体験教室を実施した。	鳥屋地域の自然を活かした魅力あふれるイベントとなり、鳥屋地域の活性化に寄与することができた。
野外イベント	クラフト市、フリーマーケットを実施した。	地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>13</b>
	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>				

### 利用者満足度調査

調査手法	鳥居原ふれあいの館の来場者に対し、「販売している商品」、「食事」、「従業員の対応」の3つの調査項目について、5段階(①大変満足、②満足、③ふつう、④やや不満、⑤不満)で評価してもらう。
目標値の基準	調査項目のうち「販売している商品」、「食事」、「従業員の対応」について「①大変満足」+「②満足」の回答の割合の過去3年間の平均値を各項目の目標値とし、その平均値を全体の目標値として設定する。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	70.0	64.2	63.9		
実績値（%）	63.7	68.9	66.0		
達成度（%）	91.0%	107.3%	103.3%	#DIV/0!	#DIV/0!

### 利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
来館者の意見・要望の収集	施設内に記入用紙及び回収箱を設置し、来館者からの意見・要望を収集し、施設運営に役立てている。

### 利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
アクセサリ等を選ぶのに鏡を設置して欲しい。	ホール内の空きスペースを利用して鏡を設置した。
駐車場内を猛スピードで走り回る車があり、危険を感じてる。	管理者である宮ヶ瀬ダム周辺振興財団と調整し、週末に警備員を配置した。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 <b>12</b>
	<b>C</b>	<b>A</b>	<b>A</b>				

### 施設の収支概要

(円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	66,501,623	77,383,637	72,770,755		
指定管理料	0	0	0		
利用料金収入	126,400	35,330	62,500		
その他の収入	66,375,223	77,348,307	72,708,255		
支出 (b)	69,916,516	65,286,216	69,884,327		
人件費	33,465,023	30,366,107	32,412,260		
本社管理経費	0	0	0		
その他の支出	36,451,493	34,920,109	37,472,067		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	<b>-3,414,893</b>	12,097,421	2,886,428		
自主事業収入 (d)	959,602	1,138,717	810,813		
自主事業支出 (e)	951,759	1,222,301	815,337		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	7,843	<b>-83,584</b>	<b>-4,524</b>		
全体収支 【(c)+(f)】	<b>-3,407,050</b>	12,013,837	2,881,904		

備考

令和元年度東日本台風影響分:465,152円  
 令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う影響分:2,918,521円  
 令和2年度指定管理者制度導入施設協力金等:29,231,926円  
 令和3年度指定管理者制度導入施設協力金等:12,000,000円

## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	無		
主な加点内容					

## 8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
Suicaの導入	電子マネーでの納付を導入し、市民サービスの向上を図る。	既にペイペイを導入しているが、レジ等のシステム構築が必要なため、引き続き検討する。
通信販売等の導入	通信販売やWeb販売の検討を行う。	野菜の入荷状況が一定ではないため、店頭が品薄にならないように引き続き検討する。

## 9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
屋外テーブルベンチセット増設	屋外での休憩スペースを増やした。	市民へのサービス向上になった。
食堂カウンター席の設置	1人客でも食堂を利用しやすい環境の整備を行った。	市民へのサービス向上になった。
洋式便器への変更	トイレを和式から洋式に変更した。	市民へのサービス向上になった。
「ふれあい通信」の発行	イベントや体験教室の案内をチラシで発行した。	市民の交流を促進する事になった。

## 10 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスの感染拡大により、感染防止が優先されたため、厳しい経営を余儀なくされた3年間でした。

緊急事態宣言の発令を受けて臨時休業となる期間があり、まん延防止等重点措置の際には、営業時間の短縮や飲食部門の閉鎖など、通常営業がなかなか展開できない困難な事態となりました。

しかし、新型コロナウイルスに関する協力金等を受け取ることができたため、収益の落ち込みを補填し、従業員の給与支払いなど何とか経営を維持することができました。

この時期に生産者の開拓や新しい商品の開発等を推進したことが、現在の売上向上にもつながっていると思います。

## 11 所管課意見

令和元年度からの3年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館や自粛営業を行ったため、来館者数及び売り上げが大きく減少したが、令和2年度、令和3年度は協力金等の支払いにより経営は黒字とすることができた。

コロナ禍での苦しい状況の中で、年間を通じて体験教室を中心としたイベントを地域と連携して実施した点は評価でき、鳥屋地域の活性化及び鳥居原ふれあいの館のPRにも寄与している。

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大が心配されるが、来館者の安全、安心に努め、さらなる鳥屋地域の活性化に努めていただきたい。

また、来館者だけではなく従業員や出荷者に対する配慮等についても引き続き努めていただきたい。

## 12 選考委員会意見

台風やコロナ禍といった大きな外的要因により運営に苦勞された中で、事業の実施状況を見ると健闘していると思われる。

収支については、黒字となっているが、市からの協力金がある為であり、財務体質が安定している時に、今後の事業に投資する必要があると考える。

コロナ禍での苦しい状況の中で、夏から秋にかけて鳥屋地域の素晴らしい自然を活かし、地域と連携したイベント等を実施した点は評価でき、鳥屋地域の活性化及び鳥居原ふれあいの館のPRにも寄与している。

今後も引き続き行っていただきたい。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(65/100)

